

緩和ケア通信発行にあたって

緩和ケア通信の第1号をみなさんにお届けします。チーム活動の紹介とメンバーによるコメント、緩和ケアに関するトピックス、情報を定期的に提供してゆく予定です。今回第1号ということで、私の挨拶から始めさせていただきました。紆余曲折を経て始まった緩和ケアチームの活動も丸3年が経ちました。6月からは4年目となります。コンサルテーションが活動の中心ですが、今までは主に緩和ケアの基本の普及、教育に力を注いできました。今後は緩和ケアの実践と行動、さらには発展、向上させることが重要となります。知識や技術、経験はもちろんですが、最も大切なのは緩和ケアに取り組む姿勢、態度であります。緩和ケアの主役は患者さんとその家族です。そして実際のケアを行うのは現場のスタッフのみなさんです。よりよい緩和ケアを行うには、スタッフ同士の協力と理解、情報共有、患者や家族と現場スタッフ、ケアチームとの日常のコミュニケーションが不可欠です。困ったことがあれば気軽に相談してください。今後とも当院の緩和ケアチームをよろしくお願いたします。



緩和ケアチームリーダー 江戸 雅孝

緩和ケアチームメンバー紹介

緩和ケアチームは現在18人のメンバーで活動しています。

チームリーダー	江戸 雅孝(診療部長)
医師	齊藤 英和(精神科科長)
医師	金田 浩人(呼吸器科科長)
医師	利川 嘉明(精神科科員)
緩和ケア認定看護師	小林 真紀
薬剤師	小川 信二
薬剤師	畠山 純子
薬剤師	田村 葵
管理栄養士	中山 明美
看護師	田中 尚子
看護師	平川 孝子
看護師	野呂 江津子
看護師	須合 美子
MSW	菊地 真人



看護師(リンクナース)門脇 真澄
看護師(リンクナース)飯坂 陽子
看護師(リンクナース)伊藤 郁子
看護師(リンクナース)日諸 千春

第26回緩和ケア勉強会報告

平成22年5月27日に2階講堂で小川信二薬剤科主任を講師として「わかってほしい薬の知識」と題した院内勉強会を開催しました。当日は、58人の参加で行われました。



緩和ケアQ&A

Question

オキシコンチン錠服用中の患者から錠剤の抜け殻が排泄されました。問題はないのでしょうか？

Answer

糞便中に錠剤の抜け殻(ゴーストピル)が排泄されることがあるのは、オキシコンチン錠の製剤設計に起因しています。ゴーストピルが検出されても、錠剤中のオキシコンチン塩酸塩は問題なく溶出していますので、鎮痛効果に影響はありません。ただし、患者・家族が不要な混乱を起さないように、ゴーストピルに関する説明をしておく必要があります。

